

図書館だより

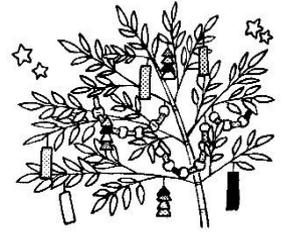
岡山市立福南中学校図書館

星

に願いを… **短冊に願い事を書こう!**

図書館入り口に短冊たんざくを置いています。一人一枚、願い事を書いてみてください😊

七夕が近づいたら、掲示をしようと思います。



©少年写真新聞社2019

◆ 6月29日は、岡山大空襲から75年目の日です。

岡山市は第二次世界大戦末期の1945年6月29日午前2時43分、約1時間半にわたり、米B29の焼夷弾による空襲を受けました。この空襲で、岡山市街地は一面焼け野原になり、子供を含むたくさんの人の命が失われました。図書館にも岡山空襲に関する本を置いています。改めて平和について考えてみませんか。

少国民Tの戦争／岡山空襲資料センター

岡山の空襲を体験した著者は自宅に岡山空襲資料センターを設立し、人生の後半をその空襲調査に注いでいる。その原点ともなる著者自身の戦争体験と、それが歴史上どのような意味を持つのかを、調査に基づいて記録する。

わたしと岡山大空襲 十代に語りつく

1945. 6. 29

／吉備人出版

今年も6月29日が近づいてくる。岡山の町がB-29の空襲に曝され、2000人以上もの人が犠牲になったその日——なぜ、岡山は空襲されなければならなかったのか、何機のB-29がやってきて、どんな爆弾を落としていったのか、その時市民は何を見て、どんな体験をしたのか…。岡山の空襲を調べ続けてきた著者が、高校生に語った岡山空襲の「記憶」と「記録」。あらためて戦争の怖さを伝えたい…。

岡山空襲は、6月29日、梅雨の季節ですね。ある時、私のところに80歳くらいの女性の方が、空襲のことで私を訪ねてこられまして、色々とお話をする機会がありました。その方が、真顔で「岡山空襲の時は雪が降っていたのですよ」と言われるのです。6月29日だから、私はまさかと思い、この方はお年のせいで記憶違いをされているとふっとおもったのです。しかしずっとお話を聞いてみましたら、話の内容に真実性があるのです。実はこうだったのです。

(本文より)



©少年写真新聞社 2013